

1 過去の学力調査問題の活用に応じた考え方

- 過去の学力調査問題は、学習指導要領が育成を目指す学力を測るために、多くの知見を集めて作成された質の高い問題であり、学校における積極的な活用が必要です。

学力調査問題を活用することにより、

- ①いま求められる学力について、児童生徒の定着状況を把握することができます。
- ②実際の授業場面に即した問題であることから、児童生徒は、望ましい学び方に触れることができます。
- ③教員は、育成を目指す学力を理解し、授業改善のアイディアを得ることができます。

- ▲ 一方で、文部科学省は、調査の趣旨・目的を損なう事例として、次の例をあげ、適切な取組の推進を求めています。

例「4月前後になると、例えば、調査実施前に授業時間を使って集中的に過去の調査問題を練習させ、本来実施すべき学習が十分にできていない。」

調査問題の活用に応じたは、日々の教育活動の目的に即した意図的・計画的な活用が必要です。

2 調査問題活用に応じた課題

調査問題活用の必要性は理解できても、実際に活用する場合には、次のような課題があります。

- ①現在、学習している内容に関係する過去の調査問題が、どこにあるのか分からない。
- ②調査問題に取り組むとなると、少なくとも1時間を費やしてしまう。
- ③学校や個々の児童生徒に課題が見られる調査問題に取り組ませたいが、その問題をピックアップすることが難しい。
- ④対象学年（小6・中3）以外の学年で活用しようとしても、調査問題の一部しか扱わないため、印刷しても無駄が多い。
- ⑤活用しようとする大量の印刷が必要となる。

3 Webページの開設

2に示した課題を解決し、活用を進めるために、過去の調査問題を設問毎に切り取り、教科別、領域別、学年別に整理し、問題の内容を記したWebページ「学習プリント集『ゆめあこ』」を平成29年に開設しました。



4 学習プリント集「ゆめあこ」の活用にあたって

全国学力・学習状況調査

小学校 算数B

全国学力・学習状況調査の領域別分類一覧です。問題用紙をPDF形式でダウンロードできます。

数と計算	
▶▶▶ 3年	平成24年度 小学校 算数B (1) 加法、減法 (PDF : 695KB)
▶▶▶ 4年	平成27年度 小学校 算数B (4) 概数 (PDF : 270KB)
▶▶▶ 4年	平成28年度 小学校 算数B (3) 小数の乗除 (PDF : 221KB)
▶▶▶ 5年	平成26年度 小学校 算数B (4) 公倍数 (PDF : 463KB)
▶▶▶ 5年	平成28年度 小学校 算数B (2) 小数の乗除 (PDF : 386KB)
▶▶▶ 5年	平成24年度 小学校 算数B (4) 小数の乗法 (PDF : 585KB)
▶▶▶ 5年	平成26年度 小学校 算数B (5) 小数倍 (PDF : 725KB)

教科一覧

小学校 [国語A](#) [国語B](#)
[算数A](#) [算数B](#)
[理科](#)

中学校 [国語A](#) [国語B](#)
[数学A](#) [数学B](#)
[理科](#)

※著作権の関係により、国語の問題の中で出典（作品名・作者名）が明記されている問題は授業のみでの利用とさせていただきます。家庭学習や長期休業中の課題等、授業外での利用はできません。なお、それ以外の問題の利用については、制限はありません。

活用① 教科別、領域別、学年別に整理した上で、問題の内容を記していますので、必要な問題を簡単に見つけることができます。

活用② 問題をクリックするとPDF形式で表示されますので、すぐに印刷して使えます。

活用③ 正答例は、教科のWebページの下の部分に掲載しています。すべての問題に、実施年度及び番号を記載していますので、照合して確認してください。児童生徒が丸つけをする場合は、教師が問題用紙に正答例を書き込んだものを準備しておくことで効率的です。

活用④ 各問題5～10分程度で取り組める内容であることから、授業の終末に定着を図る場面や、活用を図る場面など、様々な場面において簡単に使用することができます。

活用⑤ 領域別に整理していますので、児童生徒の課題に応じて活用することができます（例えば、国語の「書くこと」に課題が見られるため、「書くこと」に関わる問題を用いて授業を行う）。

活用⑥ 難易度の高い問題については、繰り返して取り組ませたり、グループで協働的に取り組ませたりすることによって、児童生徒が、深く教科の特性に触れるとともに、やりとげた達成感や達成感を味わうことができます。

活用⑦ 電子黒板やプロジェクターで大きく提示すれば、印刷せずに使用することができます。特に、問題を解説する場合は、拡大提示することにより児童生徒の理解も深まります。

活用⑧ 児童生徒用の一人一台端末等からアクセスして問題を解くことも可能です。どのように活用するかは、各学校で検討してください。